

DVD
全3巻

DVD カラー 各巻約20分

日本語字幕表示可

対象 中学校・高等学校 等

価格 各巻 18,000円+税
各巻 36,000円+税 (*ライブラリー価格)

監修：日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）

みんなで考える LGBTs

性の多様性について考え、議論する映像教材

性的指向と性自認の多様性について社会の関心が高まっています。新聞などマスコミでも取り上げられる機会が増え、多様な性のあり方への理解が広まっています。2015年4月に文部科学省から通知があったことを受け、全国の教育委員会においても前向きな取り組みが始まっています。2019年の中学校道徳教科書では、義務教育としてはじめてLGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ(LGBTs)を扱う教科書が登場し、学校教育においても性の多様性を学ぶ必要性が認知されつつあります。

本シリーズは、性の多様性を人間の個性の一つとして学ぶ機会ととらえ、LGBTsの当事者である児童生徒が、ありのままの自分でいいという自己肯定感、自尊感情を育むことを目指した映像教材です。

「授業実施のための展開案」
PDF付き



ドラマを収録した第1巻と第2巻には「授業実施のための展開案」PDFが付属します。実際に生徒たちに配布できるワークシートだけでなく、LGBTsに関する様々な統計データや50分授業における授業展開の台割例、本作を使用して授業を進めるための具体的な活用方法を明記しています。ドラマを見て生徒たち自身が考えるアクティブラーニング教材としてご活用ください。

「性的指向と性自認の多様性を知り、人権感覚を養う」

文部科学省は2015年4月に「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」とした通知を、2016年4月には教職員向けの資料を発出しました。さらに2017年「いじめの防止等のための基本的な方針」においても性的指向と性自認について言及、教職員への正しい理解の促進や、学校としての必要な対応の周知を求めています。これらの国からのメッセージに基づいて教育現場では、LGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ(以下LGBTs)に関する教員研修が増加していますが、視聴覚教材が十分でない中で、本シリーズの企画が構想されました。

人は本来多種多様で誰ひとりとして同じではなく、個性豊かな存在であるはずですが、しかしながら世の中の多数派が認める基準から少しでも異なれば、異質な存在と捉えられ、排除されることが多くあります。事実、LGBTsの児童生徒の不登校や自傷行為、自殺未遂の経験が他集団に比して高率であることは複数の調査研究によって示されており、性的指向と性自認が多数派と異なることで、彼らが学校で生きづらさに直面していることがわかっています。

本シリーズでは性的指向と性自認や性別表現の多様性について、マジョリティの視点からマイノリティへの理解を促すのではなく、誰もが多様性を構成する一員であるという視点で学べるようになっていきます。LGBTsの当事者生徒と非当事者生徒の対等な関係性や友情、困ったときはSOSを出した方がいいこと、直面する生きづらさをふまえてドラマ仕立てで構成されています。

自分が自分であることに誇りを持てるように、多くの方に見ていただきたい教材です。

日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）

現職：宝塚大学看護学部教授、日本思春期学会理事、厚生労働省エイズ動向委員会委員

文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、文部科学省幹部職員研修、法務省の国家公務員人権研修、人事院のハラスメント研修などの講師を務め、国や自治体の事業に従事している。



① いろいろな性 ～好きになる性～

080020

異性を好きになるか、同性・両性を好きになるか、あるいは誰にも恋愛感情を抱かないといった性的指向は、嗜好や志向とは異なる「指向」であり、本人が選択できるものではないと考えられています。本巻は、同性愛者（ゲイ、レズビアン）である生徒たちのドラマを見ながら、好きになる性の多様性について考える映像教材です。

「授業実施のための展開案」PDF付き



② いろいろな性 ～心の性・表現する性～

080021

体の性と心の性が異なるトランスジェンダー、男でも女でもない自認するXジェンダー、自身の性自認に揺れ動くクエスチョニング…、心の性、表現する性は実に多種多様です。近年は学校などにおける多目的トイレの設置や男女共用制服の整備など、徐々に教育現場でも取組まれてきています。自分が何者であるのかという戸惑いや揺らぎを経験する生徒たちの物語を見て、心の性や表現する性について考えます。

「授業実施のための展開案」PDF付き



③ 性的指向と性自認（解説編）

080022

統計によると、人口の約8%前後がLGBTsであると推定されています。これは30人のクラスでいえば約1～2人の生徒が該当するということになります。しかし、学齢期の早い段階での教育を待ち望まれているが、教員自身の正確な知識や理解が追いついていないという現状があります。本巻では、性の多様性を解説し、LGBTsを取り巻く社会の動きなども紹介し、その理解を深めます。

企画・制作・発売：(株)サン・エデュケーションル



JFPA 一般社団法人 日本家族計画協会 行

FAX 03-3267-2658

FAX注文書・見積依頼書

F11904

顧客コード

右の該当する欄に
○をしてください

月 日 下記の通り 注文・見積り依頼 します（納品希望日 月 日）

見積書の送付は、原本の郵送・FAXを希望します

本会より見積書提出済みの件のご注文の場合は、見積書の伝票番号をご記入ください（伝票番号 20000000 -0）

フリガナ					
貴施設名					科 課 係
TEL			FAX		
所在地	〒 都・道 府・県				
ご担当者	資格(保健師等)	伝票日付		☐ 空欄希望	
見積書 宛名	例)〇〇市長	備考欄			

各巻 18,000円(ライブラリー価：36,000円)

商品番号	商品名	ご希望数
080020	みんなで考えるLGBTs ①いろいろな性 ～好きになる性～	通常版・ライブラリー版 枚
080021	みんなで考えるLGBTs ②いろいろな性 ～心の性・表現する性～	通常版・ライブラリー版 枚
080022	みんなで考えるLGBTs ③性的指向と性自認【解説編】	通常版・ライブラリー版 枚

東京
札幌

第4・5回 性の多様性を学ぶセミナー

～LGBTsの理解と現場での支援のあり方～



担当者選 **ココがオススメ!**

- ① LGBTsについての社会的認識と現状を学ぶ
- ② 豊富なデータから具体的な支援の在り方を解説

開催趣旨

本セミナーでは、国内外の大規模な調査結果や先行事例を基に、LGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ(LGBTs)について理解を深め、広い視点から専門職としての支援のあり方について学ぶことができます。学校や病院をはじめとした機関に従事し、現場での対応や具体的な支援を学びたい方、エイズ予防教育やLGBTs対応マニュアル作成に携わっている方、性の多様性についての理解を深めたい方などのご参加をお待ちしています。

開催日：【第4回・東京】2019年7月20日(土)

【第5回・札幌】2019年11月9日(土)

会場：【第4回・東京】東陽セントラルビル 2Fホール（東京都江東区）

【第5回・札幌】北海道建設会館 9F大ホール（札幌市中央区）

定員：各100名

受講料：各10,000円（税別）

対象者：保健師、助産師、看護師、看護教員、養護教諭、教諭、医師、保育士、薬剤師、児童相談員、企業の人事・総務担当者など

時間	内容
10:00～10:30	受付・開会
10:30～16:15	講義 ① LGBTs / 性的マイノリティとは？ ⑥ 教育現場・職場の環境 ② セクシュアリティの分類 ⑦ HIV 感染対策、エイズ予防教育 ③ 日本ではどうなっているのか？ ⑧ カミングアウトしやすい環境の整備 ④ 国連や国際機関での主な動き ⑨ 教材の活用方法についての解説 ⑤ LGBTs の健康に関わる問題
16:15	閉会

* プログラムは変更となる場合がございます。予めご了承ください。

* 第4・5回とも基本的なプログラムは同様です。

講師 (敬称略)

日高 庸晴 宝塚大学看護学部教授／厚生労働省エイズ動向委員会委員／日本思春期学会理事

京都大学大学院医学研究科博士後期課程社会健康医学系専攻修了。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員、財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント・流動研究員などを経て現職。法務省企画の人権啓発ビデオの監修や、文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向けの資料の作成協力、法務省による国家公務員人権研修、文部科学省幹部職員研修等、国や自治体のセクシュアルマイノリティ理解推進・啓発事業に従事している。

* 郵送でお申込みの方はコピーして
ご利用ください

受講申込書

FAX 03-3267-2658

web申込はコチラから▶



WEB 会員登録されている方はマイページよりお申込みください。

性の多様性を学ぶセミナー

～LGBTsの理解と現場での支援のあり方～

ご希望のセミナーに✓をつけてお申し込み下さい（複数可）

☐ **2019年7月20日(土) 第4回 東京会場**

☐ **2019年11月9日(土) 第5回 札幌会場**

※全項目ご記入ください。

申込み日： 年 月 日

ふりがな			生年月日（西暦）
氏 名			年 月 日
自 宅 住 所	〒 都道府県 電話 () Fax. ()		
取 得 資 格	保健師・助産師・看護師・医師・養護教諭・看護教員・教員・管理栄養士・栄養士 保育士・薬剤師・健康運動指導士・児童指導員・児童福祉司・学生 その他 () ※その他を選択の際、必ず記入してください ※複数の資格を有する方は、現職場での資格に◎を、それ以外には○をつけてください。		
所 属 分 類	行政（都道府県）、行政（市区町村）、学校（小・中・高）、学校（大学・専門学校）、 病院・医院・クリニック、薬局、健診機関、企業、医療保険者 その他 () ※その他を選択の際、必ず記入してください		
勤 務 先	所属部署 ()		
勤 務 先 所 在 地	〒 都道府県 電話 () Fax. ()		
平日9～17時の連絡先	☐ 自宅 ☐ 勤務先	電話（携帯可）	()
通 知 送 付 先	☐ 自宅 ☐ 勤務先	※WEB会員はご登録のメールアドレスへ送信いたします	
セミナーを知ったきっかけ	☐ 家族と健康 () 月号 ☐ メールマガジン ☐ その他 ()		
受講動機を ご記入ください。			

●web会員登録 ☐ している（通知はご登録のメールアドレスへ送信いたします） ☐ していない ●受講料 ☐ 公費 ☐ 私費
●思春期保健相談士の資格 ☐ ある ☐ ない ●本会セミナーに過去に参加したことがありますか。 ☐ ある ☐ ない

☐ 教材・備品カタログ送付希望

＜受講申込書の取り扱いについて＞

受講申込書にご記入いただいた項目は本会が責任をもって管理し、的確なサービス提供を行うために使用します。また今後も継続して本会が行うセミナー等の最新情報をお送りします。ご案内等が不要な方は下の欄をチェックしてください。

☐ 今後セミナーに関する情報の提供は不要

*ご案内の送付停止の手続きは迅速に行いますが、既に発送準備が終了し、発送の差し止めが間に合わない場合があります。ご容赦下さい。

*受講申込書を通じてご提供いただいた情報を下記のような場合に限り、第三者に開示させていただくことがあります。

・本会の事業に関して機密保持契約している者（下請業者、技術支援業者、運送業者、金融機関など）

*ご記入いただきました情報に変更が生じた場合は、すみやかに本会までお知らせください。

【申込み・お問合せ先】（一社）日本家族計画協会 研修担当 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
電話 03-3269-4785（平日9:00～17:00、土日祝休） FAX 03-3267-2658 F11904